

日時	2024年 2月 3日 (土) 10:30 ~ 11:30 天候：曇ときどき雨
場所	なにわ ECO スクエア 2階交流スペース、自然体験観察園・実生林

講座・活動名	実生林創生プロジェクト
参加者	10名(うち子ども 名) 構成:一般参加 名、エコボラ 10名、事務局 名
講師名	(エコボラの場合氏名に * 印をつける)
内容	実生林創生のための活動、草刈り、生き物調査、雑木林境界柵設置
使用器材 資材・道具	(持参、借用等も含む) ハサミ、ノギス、メジャー、ジャーマンメジャー、30mメジャー、ロープ、鎌、かけや、札、調査用紙
振り返り エコボラ通信に 掲載することが あります。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎木調査は、最近柘元と高橋さんの2名で中低木を行い、高木の樹高の際に新しい方にスラントレベルやジャーマンメジャーの使用を体験してもらっていて、今回は中島さんに担当してもらった ・高木の樹高は担当者による測定誤差が大きい、およその変動を追いかけることはできるので、できるだけ多くの方に体験してもらいたい ・雑木林周辺、特に東側から南側の外周路に沿った柵を補修し、竹の小枝を挿して落葉止めを施しているが、エコボランティアの活動だけでは間に合わない、事務局にも作業をしていただいている ・朽ち木ビオトープの腐葉土やカブトムシ幼虫などが盗掘されたことを考慮し、雑木林の周囲の柵を高くして、侵入しにくくしてもらっている
次回案内 毎月第1土 曜 9:45 集合	30分程度、野草広場で草刈りした後、実生林・雑木林での作業をします。樹木の成長を記録する「毎木調査」と下草刈りや、雑木林周囲の落葉止めのための竹柵の補修を分担して行います。作業は11:30まで。12時まで打ち合わせをします。軍手をご持参ください。必要人員 7~8名程度

スタッフ氏名	活動内容	スタッフ氏名	活動内容
中島一彦	毎木調査	北川ちえこ	植物調査
高橋満子	毎木調査	中谷憲一	昆虫調査
木山正隆	朽ち木ビオトープ・竹柵修理	西田敏子	植物調査
竹原秀樹	朽ち木ビオトープ・竹柵修理	岩永圭司	植物調査
柘元慶子	毎木調査		
忍喜博	竹柵修理		

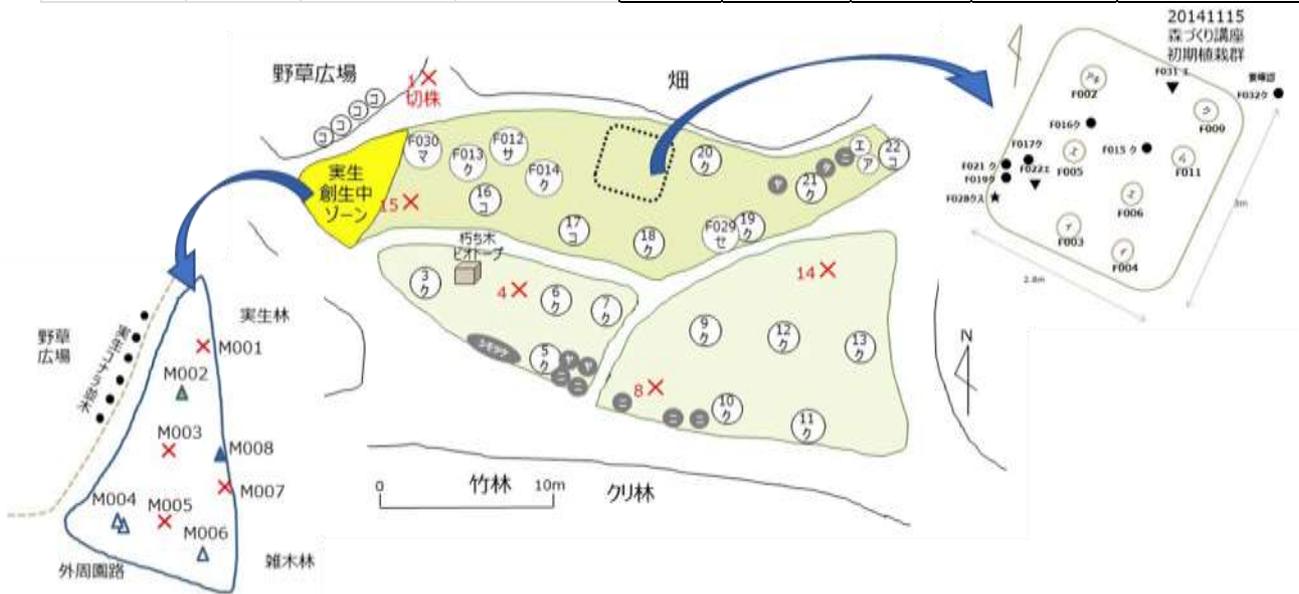
いずれかに○→ (○) 裏面に図面、写真等を添付した () 裏面なし () 詳細はファイルで提出

図面・写真等 添付面

日時	2024年 2月 3日 (土)	記録者	高橋、中島、柘元
講座・活動名	実生林創生プロジェクト		

毎木調査結果 (EXCEL 原票から表を貼り付ける)

樹種	樹高cm	地面10cm 幹直径 mm	備考	Code	調査年月日		240203	
					樹種	樹高cm	幹直径mm	備考
アキニレ	872	198.9	▼3本まとめて周囲cm	F017	コナラ	42	8.0	コナラ枯れたか
イヌビワ	287	37.8	葉は復活、花嚢は落ちた	F021	クヌギ	57	8.0	タマフシ枯れひこばえあり
イヌビワ	275	48.0	葉は復活、花嚢は落ちた	F022	エノキ	102	9.3	
エノキ	762	89.2	▼	F028	クスノキ	147	28.5	
エノキ	559	55.3	▼	F029	センダン	608	59.8	地面56cm上から測定
クヌギ	78	9.5	古い札タマフシ	F030	マグワ	993	251.5	▼
ムクノキ	702	176.7	▼	F031	エノキ	306	23.3	
サクラsp.	634	201.2	▼ほとんど落葉	F032	クヌギ	68	14.8	F009nを改番
クヌギ	984	139.4	▼	M002	クヌギ	467	64.0	2020/1/11移植
クヌギ	994	156.9	▼	M004	エノキ	432	62.8	2020/1/11移植
クヌギ	80	13.5	さけている	M006	エノキ	132	22.5	2020/1/11移植
アキニレ	150	9.0	過去クヌギだった	M008	エノキ	456	54.4	2021/1/9測定開始
				M009	クヌギ	134	14.4	2023/7/1測定開始



図面・写真等 添付面

日時	2024年 2月 3日 (土)	記録者	榎元慶子
講座・活動名	実生林創生プロジェクト		



実生創生ゾーン
クヌギはまだ葉を落としていない



実生創生ゾーン
落葉止めの竹の小枝を挿してある



朽ち木ビオトープに積んだ葉は高が減っていた



雑木林内の通路の落ち葉は林内に掃き入れてある



実生林：全景 落葉樹で明るい林になっている

日時	2024年2月3日(土)	記録者	柘元慶子
講座・活動名	実生林創生プロジェクト		



実生林の北側通路の東端に出ているビワの実生
有用植物園に親木があるため、種が動物に運ばれた可
能性もあるが、昨年母屋前において
人為的に(無断で)植えられ、除去された経緯もある。
常緑でもあり、伐採するかどうか検討したい。

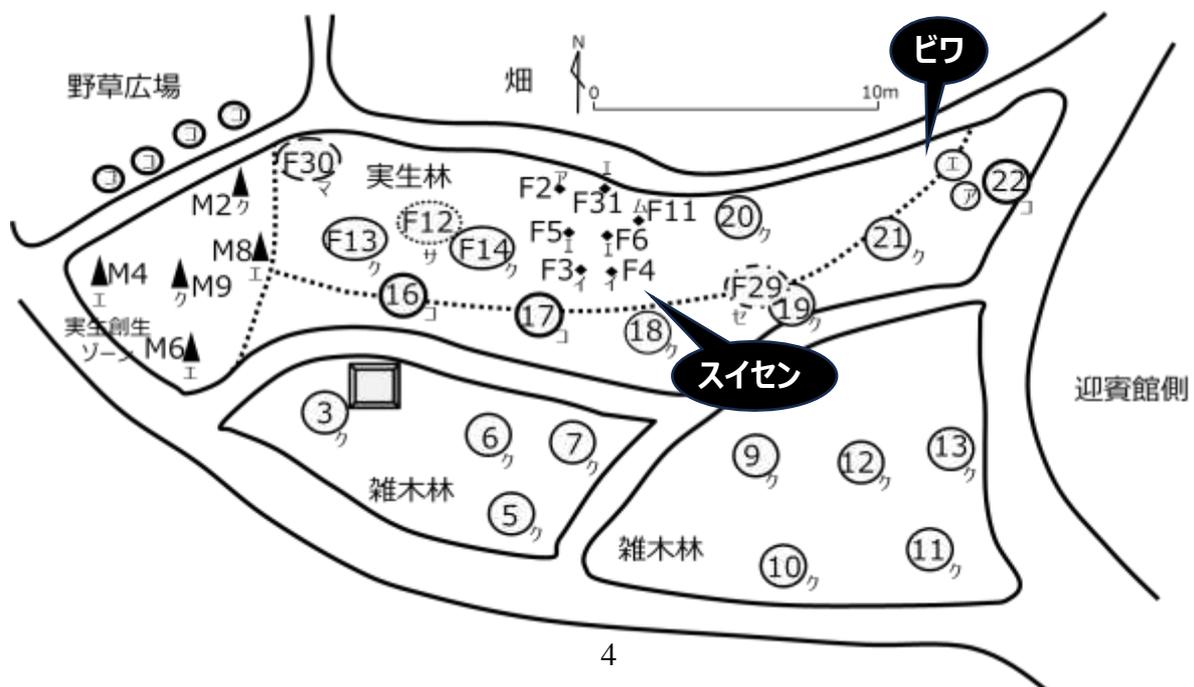


実生林の南側に、唐辛子と思われるものが、実をつけたまま
投棄されていた。過去に林内をごみ捨て場のように栽培残
渣が投棄された時代があったが、見つけては除去してきた。
このような栽培品種の種が落ちて発芽することは望ましくな
い。関係者はこの場に投棄したわけではないので、来園者
か鳥などによって運ばれた可能性はある。

上記の他、**スイセン**が発芽している。過去にラップズイセンが植えられたことがあったため、人為的な植栽であると判断し、除去する予定である。

過去に、実生林内にカキドオシが広がったことがあったが、来園者がこの種のために、周囲の草を刈っていたことがあり(現場に居合わせた)、個人的な趣味のために、植えたり刈ったりする人物がたびたび出没する。ただし、この種は、台風で周囲の倒木や枝が折れた後、光が入りやすくなり、土壌が乾燥するといった環境の変化があったため、広範囲な繁茂は見られなくなった。これは自然の推移であり、変化をみまもることが求められる。

特定の種を保護するのではなく、多様な種が存在できるように、人為的な維持管理を行っている。本来求められている環境を改変してしまうような繁殖力の強い外来種を除去することはあっても、**希少種の「保護区」としての扱いは行う場所ではない。**自然体験観察園は、あくまでも里山環境を模して創生された教育施設であり、生物多様性保全の関連施設として位置付けられているからである。



日時	2024年2月3日(土)	記録者	北川ちえこ・中谷憲一 岩永圭司・西田敏子・辻野時代
講座・活動名	実生林創生プロジェクト		

実生林

草本：12種

アレチギシギシ 1、ウラジロチチコグサ 1、オッタチカタバミ 2、オヤブジラミ 1、クサイ 1、コハコベ 1、タンポポ属の一種 1、ヒメオドリコソウ 2、ヒメジョオン 1、ホトケノザ 1、ムラサキカタバミ 1、ヤハズエンドウ 1

木本：5種

クスノキ 4、クヌギ●1 枯葉、コナラ●1 枯葉、ビワ 4、ヤエヤマブキ●0 落葉

実生創生ゾーン

草本：8種

オッタチカタバミ 1、コハコベ 1、ススキ 3 立枯、タンポポ属の一種 1、ヒガンバナ 1、ヒメジョオン 1、ヤエムグラ 1、ヤハズエンドウ 1

木本：2種

クスノキ 4、コナラ 1 枯葉

雑木林

草本：10種

アレチギシギシ 1、オッタチカタバミ 1、クサイ 1、タンポポ属の一種 1、ノビル 1、ヒガンバナ 1、ヒメオドリコソウ 2、フラサバソウ 1、ヤエムグラ 1、ヤハズエンドウ 1

木本：7種

アキコレ 4、エノキ 0 落葉、クスノキ 4、クヌギ 1 枯葉、タチバナモドキ 1、トウネズミモチ 1、ムクノキ 0 落葉

動物：1種

ヒヨドリ 0 声